



第7回
スマイル
インタビュー



「大竹山の会」について教えてください。

平成8年の広島国体の山岳競技が大竹で開催されるのに合わせて平成5年に結成されました。21年目になります。現在、会員は男女合わせて71名、40代から80代の方がいます。

どんな活動をしているのですか？

安心・安全・健康をモットーに活動しています。年20回程度、貸切バスで登山に行きます。また登山者のために市内の山の整備をしています。

登山の魅力は？

普段の生活を離れ、下界のことを全部忘れて別世界に入れることです。みんなで話しながら、楽しく登っています。また、きれいな花など高山植物との出会いも魅力の一つです。

9月に山の会が作成された「大竹ハイキング登山ルートマップ」が好評と聞きしています。マップについて教えてください。

大竹市民が意外と大竹の山に登っていないので、大鉢山など大竹の山をもっと知っていただきたくて、市の助成金を使っ



て作成しました。

最後に一言
お願ひしま
す。

三倉岳は、とても絵になるすばらしい山です。

また、大竹には海を見ながら登れる山が近場に沢山あります。ロケーションを楽しみながら、ぜひ登ってみてください。

私たちも皆さんが気持ちよく安全に登山できるように、これからも道の整備など山の管理・維持をしていきたいと思っています。



第349回 大竹山の会登山
古鷹山にて (2014.12.7)



田室 浩一郎 会長

解散から投票日まで20日あまりの、第47回衆議院選挙が昨年12月審判を終えました。

選挙期間中、期日前投票が大幅に増えたことが報じられ、投票率のアップが見込まれましたが、結果は、52.66%と戦後最低を記録しました。前回の59.32%を6.66ポイント下回りました。

選挙結果もさることながら、ここでは有権者の選挙権行使・投票について考えてみます。

半数の人が投票をしなかった今回の選挙ですが、いざれ50%を切ることは時間の問題です。選挙を通じて代議制民主主義の信頼性が問われます。今後とも投票率を向上させるための常時啓発と、住民の選挙に対する意識の向上に努める必要があります。

「投票に際して有権者は、投票した人が良い仕事をしているか、否かあまり関心がない」と指摘されています。

あとがき

しかし、ここが一番大切なところですが、果たしてどれほどの有権者が「目当て」としているのでしょうか。本年は、皆さんにとって一番身近な地方自治体の、県議会議員選挙・市議会議員選挙が実施されます。地方自治とは「地域のことは、地域に住む住民が責任をもって決める。」ことです。地方自治は地方でこそ実現できます。

投票は、「国や県のあり方と地方の住民の生活」をきめる大切な行為です。いざ投票へ!!

広報広聴特別委員

委員長
副委員長

乃美 晴一
網谷 芳孝
藤井 馨
児玉 朋也
北林 隆
山崎 年一
細川 雅子